



事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・昭和60年度新規事業化、用地進捗率約82%、事業進捗率約82%（令和5年3月末時点）
- ・令和2年3月まで：奥州市水沢姉妹町～奥州市水沢佐倉河字十文字間 延長6.9km  
（2/4）部分開通

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・事業の進捗に係る問題はない。

施設の構造や工法の変更等

- ・函渠設計の見直しによるコスト縮減を図っている。

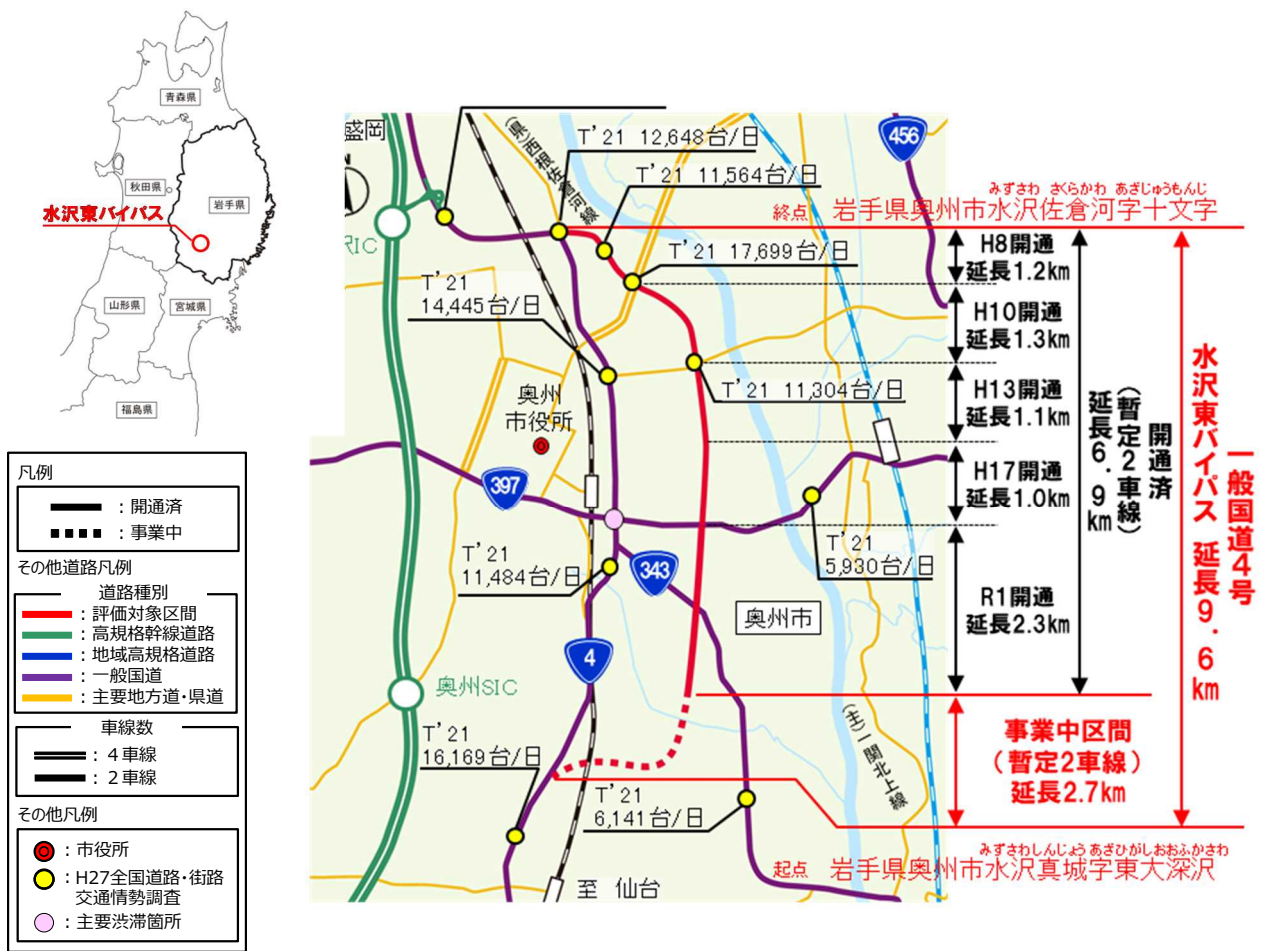
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

- ・奥州市内の交通混雑の緩和、交通安全確保等のため、早期整備の必要性が高い。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。